

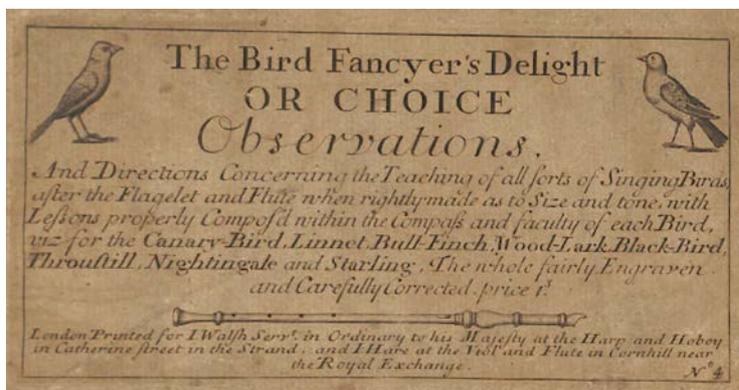


愛鳥家の楽しみ 小鳥に歌い方を教えましょう

佐々木 勉

2018年3月31日土曜日午前11時
和歌山県立図書館 南葵音楽文庫閲覧室

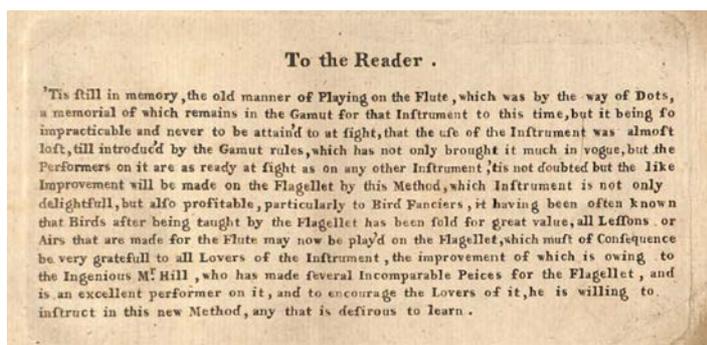
南葵音楽文庫
和歌山県立図書館内
和歌山市西高松 1-7-38
tel.073-436-9500
<https://www.lib.wakaya-ma-c.ed.jp/nanki/>



《愛鳥家の楽しみ、あるいはすべての種類の小鳥に歌い方を教えるための選りすぐりの所見と教授法。サイズと大きさが適切に作られたフラジレットとフルートによる。カナリア、

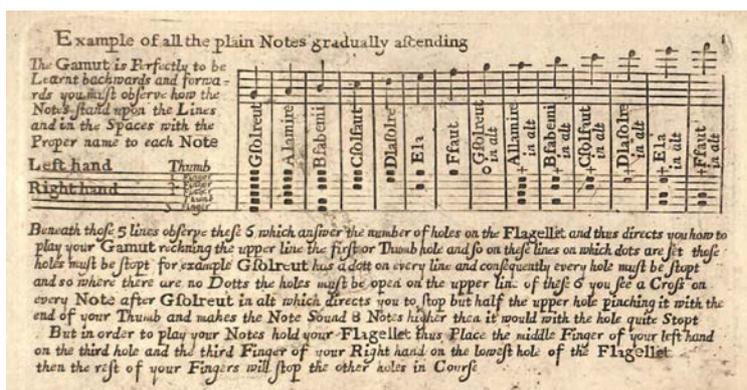
ムネアカヒワ、(ヨーロッパ)ウソ、森ヒバリ、黒ウタドリ、ツグミ、ナイチンゲール、ホシムクドリなど、それぞれの小鳥の音域と能力の範囲内で作曲された練習曲付き》
(1730年出版?)

南葵音楽文庫 所蔵番号 N-5/3



ドット(運指表)を用いたフルート(リコーダー)の旧式の演奏法が、当代のフルートのための楽譜(ギャマト)に依然名残りを留めていますが、それは実用的ではなく、初見で演奏できるものではありません。[その結果]その楽器は、[今日の]音階の規則が導入されるまでほとんど使われなくなりました。[しかし]その[楽譜の]規則は、[現在]流行しているばかりでなく、演奏形は、すでに

他の楽器を演奏するときにもそれに従っています。この[楽譜を用いる]方法によって、同様の進歩がフラジレットにもあったことに疑いの余地はありません。フラジレットという楽器は、楽しいだけでなく、特に愛鳥家にとって役に立つものです。御存知の通り、フラジレットによって教育された小鳥が、高値で売られています。フルートのために作られたすべてのレッスン、あるいはエア(旋律)は、フラジレットでも演奏できるでしょう。したがって、フラジレットの愛好家にとっても喜ばれるに違いありません。フラジレットの改良は、天才的なヒル氏によっています。ヒル氏は、フラジレットのためにいくつかの比べようもない小品を作っており、またその優れた演奏者でもあります。氏は、フラジレットの愛好家を励ますために、学びたいと希望する方々に、この新しい方法を喜んで教授することでしょう。

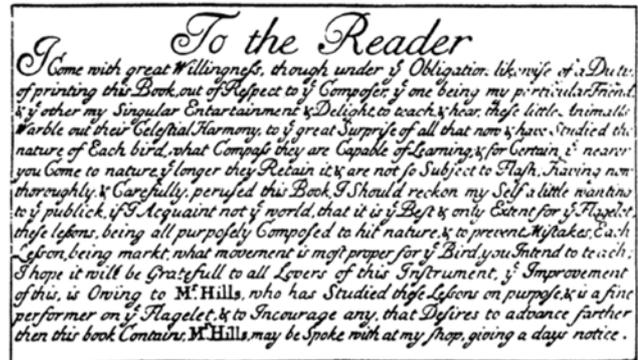
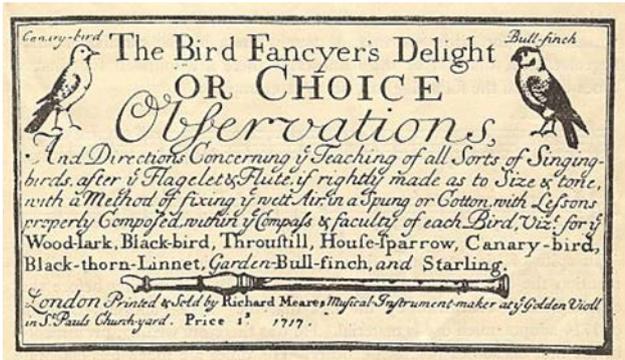


音階と運指表



ムネアカヒワ（上）と森ヒバリ（下）
のための旋律（上段：旋律、下段：
ドット記譜法）

参考資料



1717年版《愛鳥家の楽しみ》

読者の皆様へ。私は、義務のような義理もあるのですが、私の特別な友人でもある、ある作曲家に敬意を表するために、この本を出版することにしました。私の唯一の楽しみと喜びは、これらの小さな動物たちを仕込み、彼ら [小鳥たち] が天上のハーモニーを歌うのを聴くことです。それは大いなる驚きにあふれています。私はそれぞれの小鳥の性質や彼らが学べる範囲を研究してきました。彼らの性質に近づけば近づくほど、彼らはその時だけ [出来るようになるの] でなく、 [覚えたことを] 忘れなくなります。注意深く、徹底的にこの本を読んで下さい。もし私が紹介しなかったら、おそらく皆様がお知りになり得ないようなことを、ここで打ち明けるべきでしょう。それは、これらのレッスンのすべてが [小鳥] の性質と一致するように、間違いを避けつつ、フラジレットの音域内で [演奏できるように] 作曲された最良のものであるということです。それぞれのレッスンには、あなたが教えようとする小鳥にどの [レッスン] が適当なのかを示してあります。この楽器を愛するすべての皆様が、ヒル氏による楽器の改良に感謝して頂ければ幸いです。氏はフラジレットの名手であり、これらのレッスンの研究を行いました。この本の収録内容より先に進みたい方は、 [ご希望の] 日にちをお知らせ頂ければ、ヒル氏が私の店で相談させていただきます。



マス・グリーティング (1682年没)
omas Greeting
楽しい仲間：フラジレット演奏指南とレッスン》
1675年)



ドット記譜法による楽譜

森ヒバリ



東インド・ナイチンゲール



ムネアカヒワ



ムネアカヒワ



ムネアカヒワ



森ヒバリ



オウム



ヒバリ



ヒバリ



ナイチンゲール



カナリア



ホシムクドリ



ウソ

